

トキも人も 育つまちへ

出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン 2030(案)

出雲市は、2022年8月に

「トキの野生復帰を目指す里地」

〈放鳥候補地〉

に選定されました。

日本で絶滅してしまった野生のトキが
もう一度出雲市で暮らせるように
自然豊かで、トキも人も住みやすい
環境にやさしいまちを目指して
各種取組を進めてまいります。

トキの野生復帰に向けた3つの柱

機運醸成・
普及啓発

トキの放鳥を
心待ちにできる社会へ

生息環境の
整備

トキを育む
自然豊かな環境へ

地域
活性化

トキを出雲市の
新たなブランドへ

出雲市

令和7年(2025)12月



IZUMO CITY



出雲市観光振興局観光企画課プロジェクト推進室



(1) トキが暮らしていた出雲地方

江戸時代中期の享保・元文年間(1716～1740 頃)に編纂された『出雲国産物帳』にトキは「紅鶴」と記載されています。同時に「白からす」「牛からす」という方言名も併記されており、出雲地方においてトキは広く身近な存在であったことがうかがわれます。

近代においては、大正12年(1923)に島根県教育会から発行された『島根県誌』において、島根師範学校(現在の島根大学)の教諭であった雪吹敏光氏が「宍道湖にはしばしばトキ、ハクチョウ来る」と報告しています。

隠岐諸島では昭和中期までトキの生息が確認されており、こうした資料により出雲地方においてもトキの群れが生息していたことが確認できます。

(2) 日本の空からトキが消える

トキは昔、日本の各地で見ることができました。トキ色は淡い桃色と言われ、羽軸からのグラデーションの美しさが大きな特色であり、大空を飛び交う光景は見る者の心を魅了したことでしょう。

しかしながら、美しい羽根や食用を目的とした狩猟、近代化に伴うトキの生息環境の激変により、生息数は激減しました。絶滅が危惧される中、トキは昭和27年(1952)に特別天然記念物に指定、昭和35年(1960)に国際保護鳥に選定され、保護活動が行われましたが、昭和56年(1981)に佐渡に生息していた最後の5羽を保護のため捕獲し、日本の空からトキの姿は消えてしまいました。

(3) 出雲市のトキ保護活動

現在、我が国をはじめ、中華人民共和国や大韓民国で保護増殖が進められているトキは、全て中華人民共和国の陝西省^{せんせいしょうようけん}洋県で発見された7羽のトキの子孫となります。

出雲市は、この洋県が所属する漢中地区と平成3年(1991)から交流をはじめ、漢中地区が漢中市となった平成8年(1996)には友好都市協定を締結し、陝西トキ救護飼養センターで飼育されていたトキの飼育費用を負担する「認養」を平成12年(2000)に開始しました。

その後、平成16年(2004)に国において佐渡の飼育個体の分散の方針の決定を受け、出雲市は平成18年(2006)にはトキの近似種の飼育を開始し、飼育技術の向上を図るなどトキの分散飼育の実現に向けて準備を進めました。

そして、平成20年(2008)にトキの分散飼育地として決定を受け、平成23年(2011)にトキの分散飼育・飼育繁殖をトキ分散飼育センターにおいて開始し、国のトキ保護増殖事業の進展に貢献してきたところです。

(4) トキをシンボルとした環境にやさしいまちづくり

出雲市は、平成22年(2010)に「出雲市トキによるまちづくり推進協議会」を発足し、各種団体と連携しながらトキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりを推進してきました。

平成23年(2011)には、トキによるまちづくりの指針となる「出雲市トキによるまちづくり構想」を策定し、令和元年(2019)にはトキの一般公開を開始しました。

令和4年(2022)には、国のトキ保護増殖事業計画が本州でのトキの野生復帰に向けて変更されたことから「出雲市トキによるまちづくり構想」を一部改定しました。そして、令和4年(2022)8月、出雲市は石川県とともにトキの野生復帰をめざす里地(A地域：将来的なトキの野生復帰をめざし環境整備を進める地域)に選定されました。

そこで、全庁横断的にトキの放鳥・野生復帰に取り組むため、令和5年(2023)7月に、市長を本部長とする「出雲市トキによるまちづくり庁内推進本部」を設置し、令和6年2月に行動計画となる「出雲市トキによるまちづくり構想アクションプラン2025」を策定しました。

世界経済フォーラムのグローバルリスク報告書2024では、生物多様性の損失と生態系の崩壊は、異常気象と気候変動に次ぐ深刻な危機と言われています。

全ての生物は単体で存在しているわけではなく、補い合い影響しあって生きており、ある種や遺伝子、生態系が失われると他の生物にも影響が及び、全体のバランスが崩れてしまいます。

私たちの生活は、多くの部分が自然によって支えられており、人と自然が共生する社会を構築するためには、生物多様性の維持や地球環境の保全を積極的に推進していく必要があります。

出雲市は、総合振興計画「出雲新話2030」において、「トキが飛び交う美しい出雲」を掲げ、出雲の自然を舞台にトキの野生復帰を目指し、持続可能な地域社会の形成に向けて取り組むこととしています。多様な生き物が生息する環境にやさしいまちであればトキも生息することができ、それは人にとっても住みやすい、暮らしやすい環境となります。

合言葉は「トキも人も育つまちへ」。出雲市が有する総合力「出雲力」を活かし、経済と暮らしの好循環で、住む人、関わる人、誰もが笑顔になれるまちを目指します。



写真提供：環境省

I 目的及び位置づけ

このアクションプラン2030は、「出雲市トキによるまちづくり構想」に基づき、トキをシンボルとした環境にやさしいまち出雲を目指し、国の「トキ野生復帰ロードマップ」の基本方針に沿って、トキの放鳥・野生復帰に向けて、基本的な施策・事業を体系的に示すものです。

II 計画期間

令和8年度(2026)～令和12年度(2030)

III 放鳥目標年度

令和9年度(2027) の放鳥を目指す

※トキの放鳥・野生復帰に向けて、出雲市が独自に目標設定するものです。

IV アクションプラン2030の構成

基本目標	基本施策
1. 市民の環境意識の向上	(1) 普及啓発の強化・価値観の共有化 (2) 若年層に向けた発信力の強化 (3) 農業者・関係者の理解醸成
2. 環境にやさしい農業の普及	(1) 環境にやさしい農業の推進 (2) 既存制度の活用・推進
3. 豊かな生態系の再生	(1) 生息環境整備に向けた取組 (2) 森林や水辺の再生と活用 (3) 野生動植物にも人にもやさしい里山づくり (4) 放鳥に係る体制づくり
4. 人的交流の活性化	(1) つながる人の輪
5. 地域産業への波及	(1) トキを出雲市の新たなブランドへ (2) 環境にやさしいまち出雲の全国発信



市は、平成23年(2011)からトキの分散飼育を開始し、令和元年度(2019)からは一般公開も行い、様々な形で啓発活動を行ってきました。

トキの放鳥・野生復帰には、市民・県民の理解と協力が不可欠であり、市民・県民がトキの放鳥を心待ちにいただけるような機運を醸成する必要があります。

令和7年度(2025)に実施した市の公式SNS登録者等を対象とした認知度調査では、トキの放鳥候補地に選定されたことを知っているかの問いに対し、「知っている」が66.9% (令和5年度比12.2ポイント増)、令和9年度(2027)放鳥をめざしていることを知っているかの問いに対し、「知っている」が41.7% (令和6年度比12.2ポイント増) という結果となりました。認知度は、少しずつ高まっておりますが、更に多くの方が共感、賛同いただけるよう情報発信に取り組みます。

また、なぜ出雲市がトキの放鳥・野生復帰に取り組むのか、その意義についても発信していく必要があります。トキの絶滅した原因には、乱獲のほか、圃場整備や農薬使用などの農業の近代化による餌場の減少、森林の伐採によるねぐらの減少などがあげられます。

多様な生き物が生息する環境にやさしいまちであればトキも生息することができ、それは人にとっても住みやすい、暮らしやすいまちとなります。

トキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりの価値観を市民が共有するとともに、市内外に向けてこの独自価値をしっかりと発信することで、市民の地域への愛着形成につなげます。

【重点的に取り組む事項】

(1) 普及啓発活動の強化・価値観の共有化

- ・普及啓発用のグッズやトキ学習コーナーの展示品の充実を図ります。あわせて市のイメージカラーに設定したトキ色を活用し、視覚的にトキによるまちづくり事業について触れる機会を増やします。
- ・独自ブランドの確立に向けてブランディング戦略について検討し、統一ロゴの作成、情報発信の強化に取り組みます。
- ・シンポジウムや説明会を開催し、広く周知を図ります。
- ・行政、市民及び民間団体等が一体となった機運醸成を図るため、「(仮称) 出雲市トキによるまちづくり条例」の制定について検討します。
- ・いずもトキファンクラブを活用し、関係人口の拡大を図ります。
- ・NPO法人いずも朱鷺21の活動を支援するとともに、トキの取組を応援してくださる賛同者の拡大を図ります。
- ・愛宕山公園内でトキ近似種を飼育し、直接触れ合う機会を増やします。
- ・トキの認知度調査を継続的に実施し、トキによるまちづくりの認知度を把握するとともに施策立案につなげます。
- ・トキ公開施設及びトキ学習コーナーの愛称を募集し、誰もが親しみやすい施設として、

施設の充実を図ります。

- ・市民参加型のイベントを実施し、更なる機運醸成に取り組めます。

（２）若年層に向けた発信力の強化

- ・オリジナル絵本「いずものトキ くるりのぼうけん」を、３歳児健診時に全員に配付するとともに、絵本のキャラクターを活用しPRを図ります。
- ・トキの紙芝居や夏休みの自由研究講座の開催など、子ども向け学習講座を実施します。
- ・小・中学校において啓発パネルを展示するなど、環境教育の充実に努めます。
- ・ミコトッキーを活用しPRを図ります。

（３）農業者・関係者の理解醸成

- ・トキの餌場確保に向け、JAなどの関係機関と連携し、様々な機会を通じて農業者等の理解醸成に努めます。
- ・放鳥適地の地域において、放鳥・野生復帰に向けた取組などを説明する機会を設け、トキによるまちづくり事業について理解醸成を図ります。
- ・農業者が佐渡島でのトキの生息環境づくりに関する先行事例を学ぶ現地視察や意見交換会等を実施します。





国は「みどりの食料システム戦略」を策定し、有機農業をはじめとする自然環境に配慮した持続可能な食料システムの構築を進めています。国の方針を踏まえ、市においては国土保全や環境保全、生態系保全などの農業の多面的な機能の発揮に向け取組を進めることとしています。

環境にやさしい農業の普及のため、令和5年(2023)10月に「出雲市環境にやさしい農業研究会」を設立しました。

環境にやさしい農業の普及は、結果として、トキの餌場環境の整備につながります。水田は、水生小動物を餌とするトキにとって重要な餌場となることから、「出雲市環境にやさしい農業研究会」では、有機農業等の普及が可能な農業技術体系の確立、餌場確保につながる水田管理体系の確立及び農業所得の向上に向けた販売戦略について、検討などを行っています。

今後、研究会を引き継ぐ発展的な組織に移行し、本格的な普及に取り組みます。

【重点的に取り組む事項】

(1) 環境にやさしい農業の推進

- ・国の「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、有機農業等の普及を可能とする環境にやさしい農業技術体系の確立を進めます。
- ・ふゆみずたんぼや早期湛水、江^えの設置など、トキの餌場確保につながる水田管理体系の普及を目指します。
- ・トキをブランドとした米の高付加価値化など、市独自認証制度の確立を目指します。

(2) 既存制度の活用・推進

- ・有機JAS認証及び特別栽培農産物の普及を促進します。
- ・中山間地域において実施されている棚田保全活動を支援することにより、棚田が持つ多面的機能を活用し、交流人口の拡大など地域振興を進めます。
- ・多面的機能支払交付金制度や新出雲農業チャレンジ事業を活用し、江やビオトープの設置及び維持を支援します。





トキの野生復帰のためには、ねぐらや営巣に適した森林、餌場など生息環境を整備する必要があります。

令和7年(2025)に稗原地区で実施した餌資源量調査では、冬季の餌資源量は、放鳥前の佐渡市と比較し若干上回る結果となりましたが、トキが安心して生息できる餌資源量を確保することが必要です。そこで、佐渡市や石川県の事例を参考に、継続しやすい取組をまとめた生息環境基本指針を策定するとともに、通年湛水箇所（田んぼビオトープ等）の整備促進を図ります。また、稗原地区において、こうした取組による餌資源量の変化を把握するため、追跡調査を実施し、事業効果を検証しながら、他地域への横展開を図ります。

斐伊川・神戸川流域は、自然豊かな水辺環境を有しており、ハクチョウやガンなどの水鳥や多くの水生動物の棲みかとなっています。保全すべき自然環境を有機的につなぎ、面的な環境整備を進めるため、関係する行政機関、周辺自治体及び民間団体と連携し、広域的な取組を進めます。

放鳥の方法については、国の方針をもと、ソフトリリースを基本とし、ハードリリースを併用して放鳥します。ソフトリリース用の簡易ケージの設置・管理を行うとともに、ハードリリースを行う際にセレモニーを実施します。

また、放鳥後のトキの行動、生息状況等を調査するためのモニタリングチームを結成するほか、広く目撃情報を収集するためのシステムを構築します。また、トキは広域に移動することが想定されるため、県及び周辺自治体と連携し、目撃情報の収集や傷病個体の対応に取り組めます。

このほか、環境省と連携して観察マニュアルを作成し、トキの生態に影響を及ぼさない適切な観察方法の周知・徹底を図ります。

【重点的に取り組む事項】

（１）生息環境整備に向けた取組

- ・出雲市トキ野生復帰アドバイザー等の意見を踏まえ、継続しやすい取組をまとめた生息環境基本指針を策定します。
- ・出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会において、放鳥適地における生き物調査を実施します。
- ・餌場となる江やビオトープなどの通年湛水箇所の整備促進を図ります。
- ・餌資源量調査を実施した稗原地区において、餌資源量を把握するための追跡調査を実施します。

（２）森林や水辺の再生と活用

- ・トキが生息するための良好な水辺環境を面的に整備・維持するため、「斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と生きる流域づくり検討協議会」や「宍道湖水環境改善協議会」などの関係団体、島根県、周辺自治体と連携して取組を進めます。

- ・河川及び湖沼周辺の清掃活動を行うとともに、市内河川の水質検査を継続実施します。
- ・森林整備による水源涵養機能の回復向上に努めます。

（３）野生動植物にも人にもやさしい里山づくり

- ・出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会と連携し、自然環境の把握、情報発信の充実、広域における環境にやさしいまちづくりの機運醸成を図ります。
- ・侵入竹の除去や里山林の保全を行う住民団体を支援し、里山林の健全化に努めます。

（４）放鳥に係る体制づくり

- ・トキの放鳥・野生復帰に向けて、県、周辺自治体等と協議・調整を行います。特にトキの目撃情報の収集や傷病個体の対応について、連携体制の構築を図ります。
- ・ソフトリリースを基本とし、ハードリリースも併用して放鳥します。ソフトリリース用の仮設ケージの設置・管理について、佐渡市及び石川県を参考に取り組を進めます。
- ・ハードリリースの実施にあたり、放鳥場所でセレモニーを実施し、トキの放鳥・野生復帰をPRします。
- ・テン等の天敵対策について、国、県及び関係機関と協議調整を行います。
- ・野生下におけるトキの行動、生息状況等を調査するためのモニタリングチームを結成するほか、市民等から広く目撃情報を収集するためのシステムを構築します。
- ・市民及び観光客向けの観察マニュアルとして、環境省が作成する「トキのみかた」の出雲市版を作成し、トキの生態に影響を及ぼさない適切な観察方法の周知・徹底を図ります。



写真提供：環境省

4

人的交流の活性化



日本で唯一トキの野生復帰を実現した佐渡市及び本州初の放鳥地となる石川県と、行政、民間及び教育分野における人的交流の活性化を図り、交流人口・関係人口の拡大及び新たなネットワークづくりを進めます。

また、出雲市がトキの放鳥・野生復帰に取り組むきっかけの一つとなった、友好都市「中国漢中市」との交流について、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、一時中断していましたが、令和7年度(2025)から交流を再開しました。同年10月には、訪問団が漢中市を訪問し、今後も相互交流の促進を図ることを確認しました。トキを通じた人的交流・文化的交流を図り、国際交流の促進を図ります。

このほか、地元大学や研究機関、高等学校とトキを通じた連携事業について検討します。

【重点的に取り組む事項】

(1) つながる人の輪

- ・佐渡市、石川県及び環境省等で構成するトキと共生する里地づくりネットワーク協議会において、本州においてトキが生息できる環境整備を円滑に行うため情報共有を行うとともに、交流促進を図ります。
- ・放鳥に向けた体制を整えるため、必要に応じて、佐渡市への職員の研修派遣を行います。
- ・中国漢中市と、トキを通じた人的交流・文化的交流を図り、国際交流の促進を図ります。
- ・県内に立地する大学や研究機関、高等学校と情報共有を図るとともに、連携事業について検討し、トキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりの促進を図ります。



写真提供：環境省



トキをシンボルとしたまちづくりを持続可能な事業とするためには、社会環境及び生息環境を整備すると同時に、経済効果を生み出すことが重要です。

トキは学名を「ニッポニアニッポン」といいます。学名に「ニッポン」の名を持つ鳥類はトキしかおらず、日本を代表する鳥と言っても過言ではありません。そして、その美しい外見からも、トキはブランドとして大きな価値と可能性を有していることがうかがえます。

トキを活用した農作物等の高付加価値化、新たな商品開発、観光メニューの創出など、トキを出雲市の新たなブランドとして確立させ、地域における経済活動の促進及び人と人とのつながりを生み出すことにより、トキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりの持続的な発展につなげます。

トキの野生復帰は、行政、地域住民、民間団体、企業等が一緒になって取り組むことが必要です。近年、ネイチャーポジティブ（自然再興）に取り組む企業が増えており、賛同者の拡大、掘り起こしを図り、官民連携によって大きな事業展開につなげます。

【重点的に取り組む事項】

（１）トキを出雲市の新たなブランドへ

- ・トキをブランドとしたトキ関連の商品開発に取り組みます。
- ・トキを題材とした観光プログラムやバードウォッチングツアーの検討、試行を行います。

（２）環境にやさしいまち出雲の全国発信

- ・出雲縁結び空港及び高速道路サービスエリアなど、県外者を対象とした、情報発信を行います。
- ・PR動画を制作し、全国の幅広い世代へPR活動を行います。
- ・普及啓発や餌場環境整備等に向けた企業連携を図り、賛同者の拡大につなげます。また、支援企業を対外的にPRする仕組みの構築を図ります。
- ・事業推進に向けた財源確保に取り組みます。
- ・稗原地区において、トキの初回放鳥地であることがわかるようなモニュメント等について検討します。
- ・トキの放鳥地（候補地）であることを全国に発信するため、全国各地で開催されるシンポジウムやフォーラムに参加し、市の取組を紹介します。

出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2030 体系図

新規事業

一部新規・拡充事業

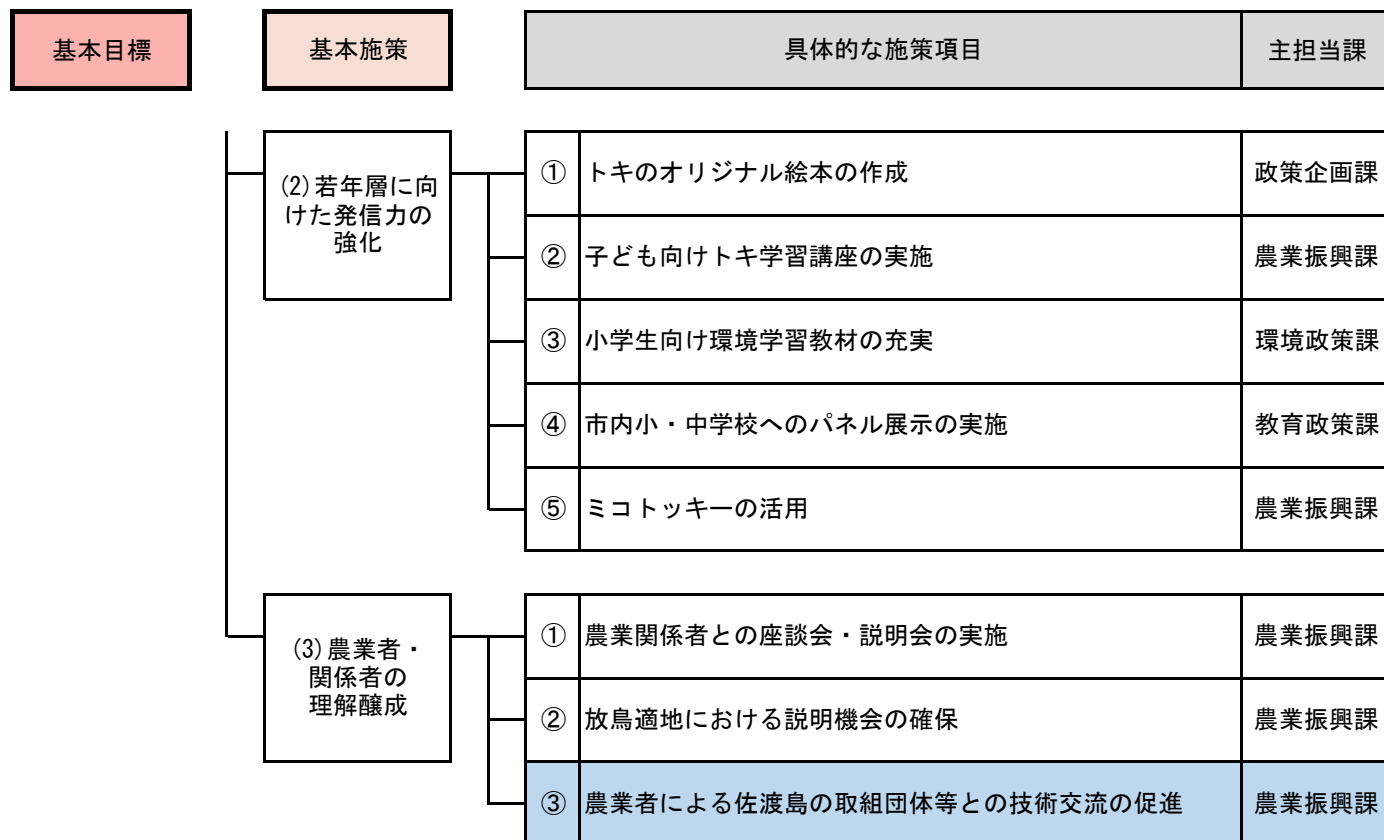
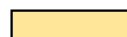
基本目標	基本施策	具体的な施策項目		担当課
1. 市民の環境意識の向上	(1) 普及啓発の強化・価値観の共有化	①	PR活動・ブランディング戦略の推進	政策企画課
		②	トキ色の活用	政策企画課
		③	シンポジウム・説明会の実施	政策企画課
		④	(仮称) 出雲市トキによるまちづくり条例及びトキの日の制定	政策企画課
		⑤	鳥根県実施イベント等とタイアップした企画展示	政策企画課
		⑥	ふるさと納税型クラウドファンディング・企業版ふるさと納税の活用	政策企画課
		⑦	トキファンクラブの設置	政策企画課
		⑧	NPO法人いずも朱鷺21の活動支援	政策企画課
		⑨	賛同者・賛同団体との連携強化・活動支援	政策企画課
		⑩	様々な媒体を活用した情報発信	広報課
		⑪	トキ学習コーナー展示品のリニューアル	農業振興課
		⑫	県内・市内の鳥類等見学施設との連携	農業振興課
		⑬	バックヤード体験ツアー、エサやり体験の拡充	農業振興課
		⑭	愛宕山公園におけるトキ近似種の飼育・公開	都市計画課
		⑮	トキの認知度調査の実施	政策企画課
		⑯	トキ公開施設等の愛称募集	農業振興課
		⑰	放鳥決定記念イベントの実施	政策企画課

出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2030 体系図

新規事業

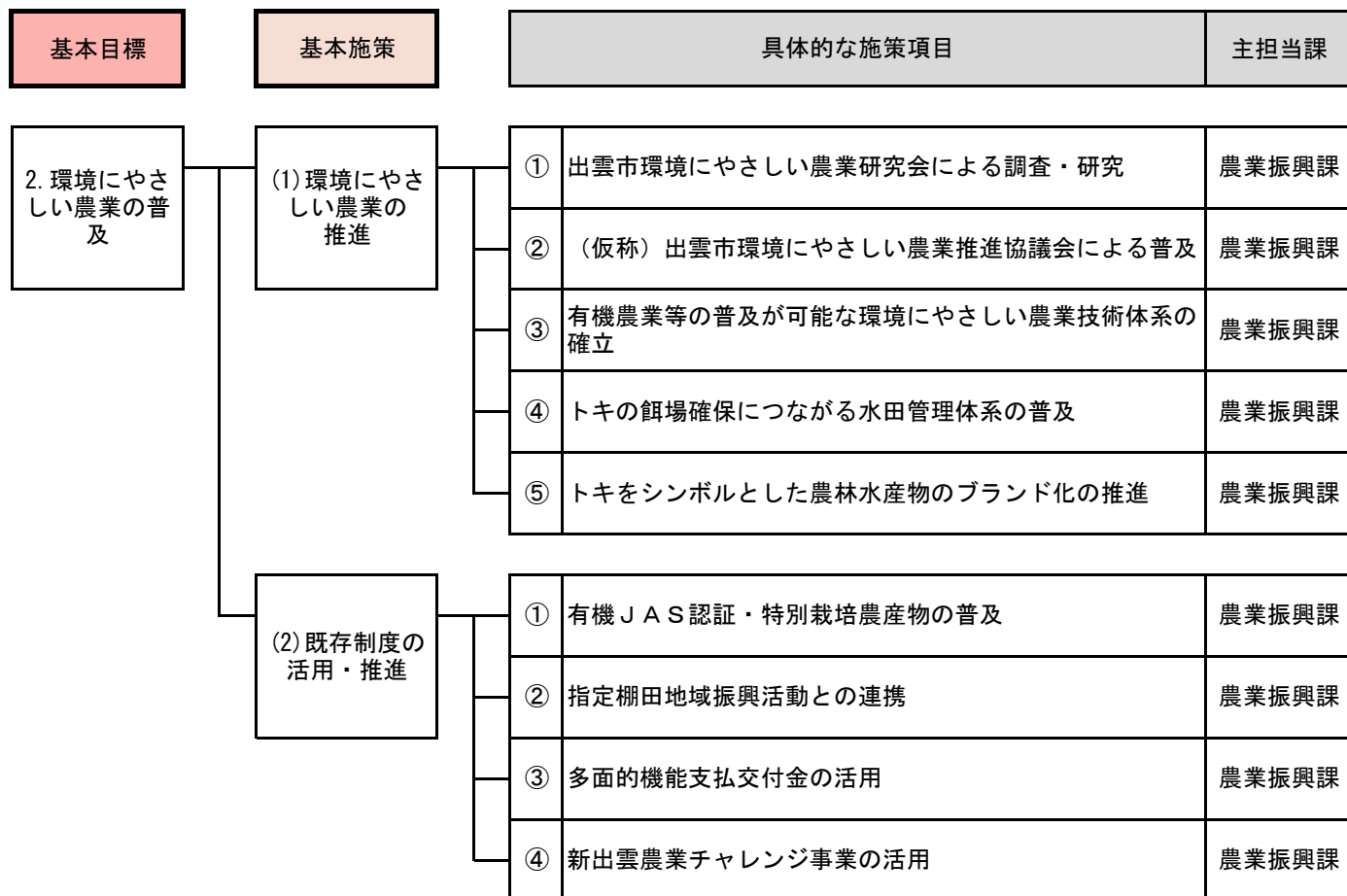


一部新規・拡充事業



出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2030 体系図

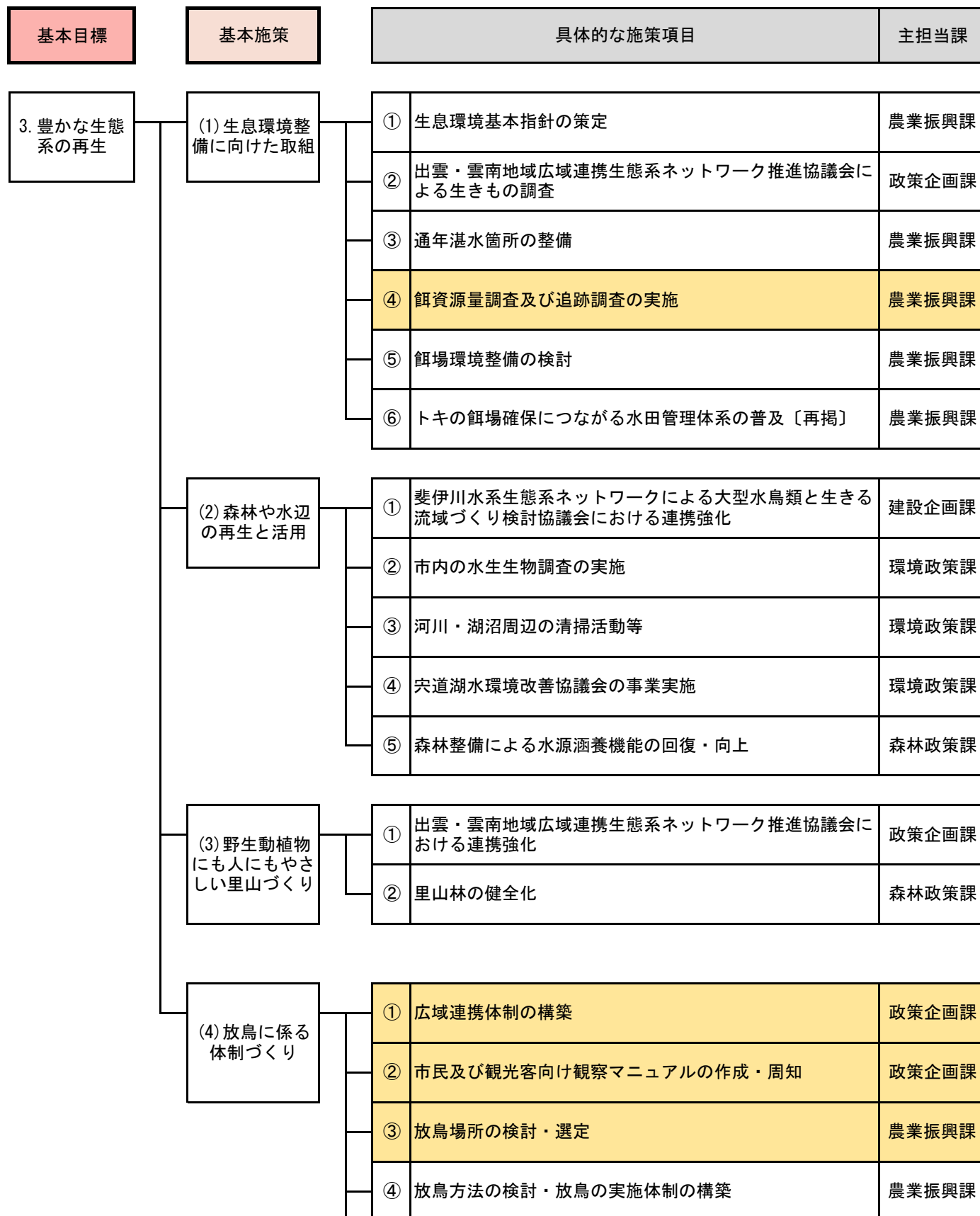
新規事業 一部新規・拡充事業



出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2030 体系図

新規事業

一部新規・拡充事業

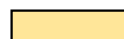


出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2030 体系図

新規事業



一部新規・拡充事業



基本目標

基本施策

具体的な施策項目

主担当課

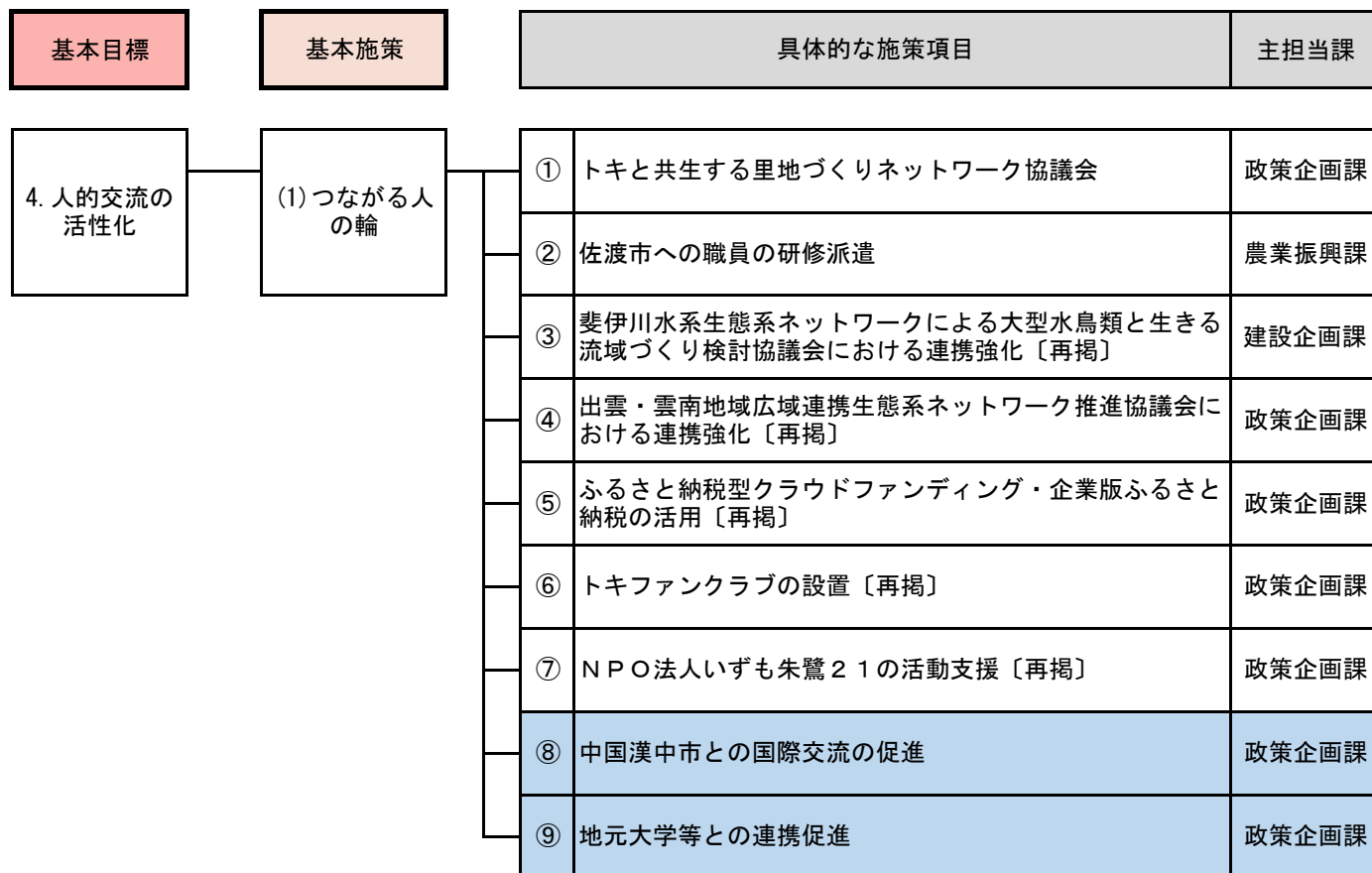
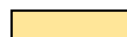
⑤	天敵対策の検討・実施	農業振興課
⑥	放鳥後のモニタリング体制の構築	農業振興課
⑦	トキの傷病・死亡等の緊急時の体制構築	農業振興課
⑧	放鳥後の生態系・環境への影響調査	環境政策課
⑨	放鳥の実施（ソフトリリース・ハードリリース併用）	農業振興課
⑩	ソフトリリース用仮設ケージの設置	農業振興課
⑪	ハードリリースのセレモニー実施	政策企画課

出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2030 体系図

新規事業

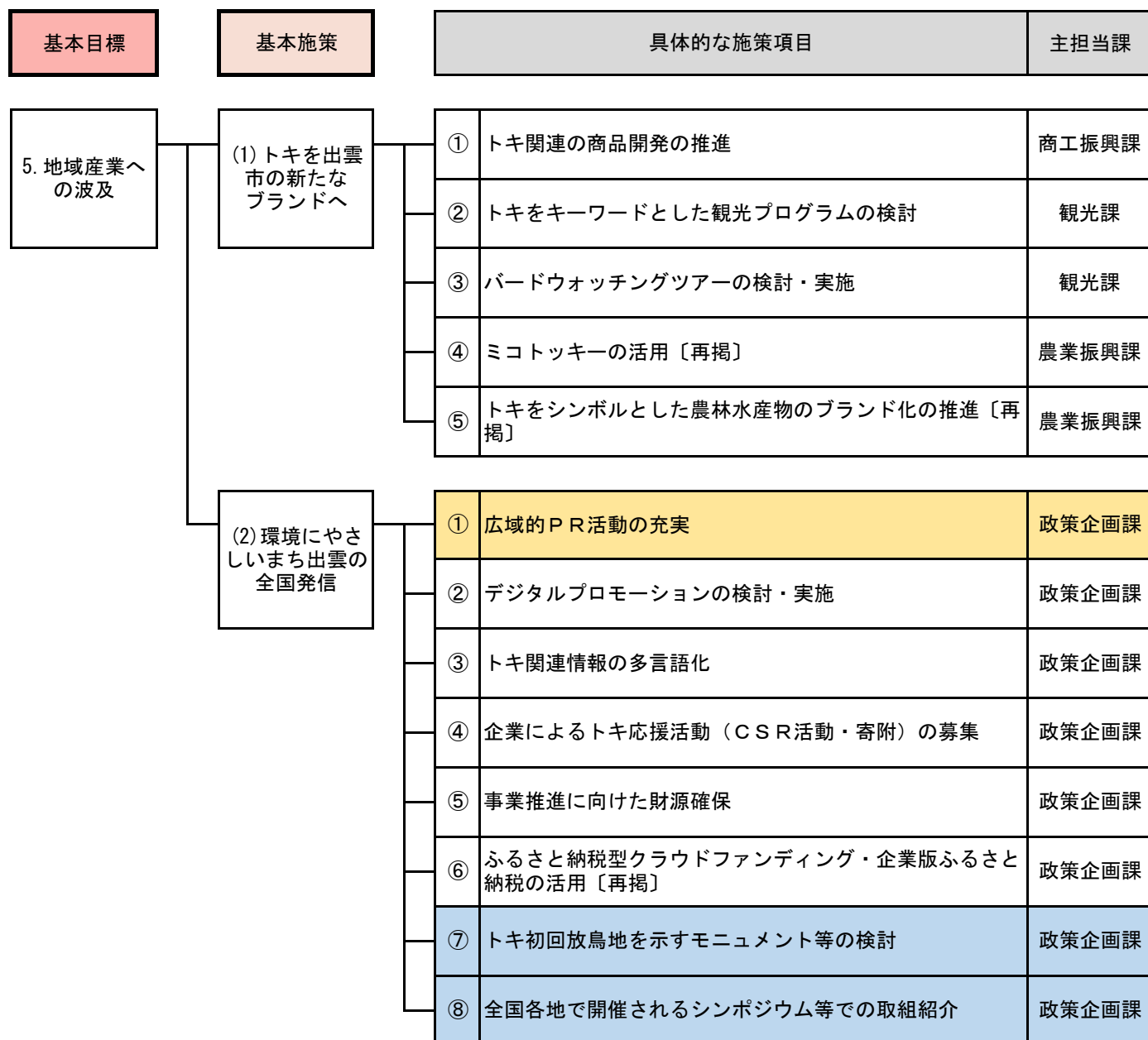


一部新規・拡充事業



出雲市トキによるまちづくり構想 アクションプラン2030 体系図











新規事業 一部新規・拡充事業



(1) 普及啓発の強化・価値観の共有化

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
①	PR活動・ブランディング戦略の推進【一部新規・拡充】	パンフレットや展示資料を活用し、トキの生態等について周知するとともに、PR活動の充実を図る。また、放鳥決定のポスター・看板を作製し、令和9年度放鳥に向けた機運醸成を図る。 あわせて独自ブランドの確立に向けてブランディング戦略について検討し、統一ロゴの作成、情報発信の強化を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発用ポスター及びパンフレットの作製 ・展示資料の充実 ・ノベルティグッズの作製 ・PR看板の設置 	PR活動の実施 展示・啓発資料の充実 ノベルティグッズの作製				
	政策企画課			放鳥決定ポスター・看板の作製・設置				
②	トキ色の活用【継続】	市のイメージカラー「トキ色」を活用し、トキによるまちづくり事業を視覚的に啓発する。	<ul style="list-style-type: none"> ・市のイメージカラーに「トキ色」を設定 ・各種印刷物や公共施設のアクセントカラーにトキ色を活用 ・トキ色をイメージしたライトアップ事業の実施 	トキ色の活用（ソフト・ハード） 民間活用の斡旋				
	政策企画課			トキ色ライトアップ・ワークショップ事業の実施				
③	シンポジウム・説明会の実施【継続】	シンポジウム（基調講演・パネルディスカッション等）や説明会を実施し、広く周知を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウムの開催 ・ケーブルテレビでシンポジウムを全編放送 ・説明会の実施 	シンポジウムの開催 ・基調講演 ・パネルディスカッション 説明会の実施				
	政策企画課							
④	（仮称）出雲市トキによるまちづくり条例及びトキの日の制定【継続】	トキによるまちづくりに向けた行政、市民及び関係団体等の役割等を明示した基本条例を制定するとともに、トキの日を定め、普及啓発及び環境保全イベントを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・他市町における条例制定状況の情報収集 	条例案検討				
	政策企画課			出雲トキの日の制定 出雲トキの日のイベント実施				
⑤	島根県実施イベント等とタイアップした企画展示【継続】	島根県等が実施する企画展示にトキの展示物を活用していただくとともに、市の各種イベントに出展し幅広く啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・県及び出雲河川事務所が実施する企画展示に啓発パネル等を展示 ・いずも産業未来博に出展 ・図書館等へ啓発パネル等を展示 	企画展示の実施				
	政策企画課			展示物等の更新				



(1) 普及啓発の強化・価値観の共有化

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
⑥	ふるさと納税型クラウドファンディング・企業版ふるさと納税の活用【継続】	ふるさと納税型クラウドファンディング及び企業版ふるさと納税の活用により、広く普及啓発を図るとともに、財源確保を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税型クラウドファンディングの実施 ・企業版ふるさと納税の実施 	 ふるさと納税型クラウドファンディング				
	政策企画課			 企業版ふるさと納税				
⑦	トキファンクラブの設置【継続】	いずもトキファンクラブを設置し、公式LINEアカウントを活用した情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・いずもトキファンクラブの設置・会員募集 ・官民連携による運営協議会の設置 	 ファンクラブの管理運営 会員募集・情報発信				
	政策企画課			 加入者特典の検討・実施				
⑧	NPO法人いずも朱鷺21の活動支援【継続】	トキ関連事業の開始当初から中核組織として取り組んでいるNPO法人いずも朱鷺21の独自事業（地元説明会、トキグッズの作製・販売、ビオトープの設置等）の活動を支援するとともに、トキの取組の賛同者の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・トキ関連グッズ（ポロシャツ・トートバッグ）の販売斡旋 ・ビオトープ整備に係る支援 ・講演会や地元説明会の実施に係る資料提供 	 活動支援				
	政策企画課							
⑨	賛同者との連携強化・活動支援【継続】	新たな賛同者・賛同団体の拡大を図るとともに、賛同者の活動の支援策について検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・賛同する団体が実施するイベントやトキ関連商品をPR 	 賛同者との連携強化・イベント等の情報発信				
	政策企画課							
⑩	様々な媒体を活用した情報発信【継続】	情報発信のあり方について方針をまとめ、HP、SNS、YouTube、CATV等の様々な媒体を活用し情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・トキ分散飼育センターHP改修 ・市政番組による情報発信 ・地元ケーブルテレビへの出演 	 SNS・YouTube・CATV・HPの活用・情報発信				
	広報課			 情報発信のあり方の検討				
⑪	トキ学習コーナー展示品のリニューアル【一部新規・拡充】	本州におけるトキの放鳥決定・放鳥に伴う展示品の追加など、トキ学習コーナーの展示品を更新・充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・展示品のリニューアルを実施（パネルの更新、出入口にトキをデザインしたカットティングシートの装飾など） ・トキの餌釣りゲームの設置 	 更新実施				
	農業振興課			 放鳥に伴う展示品追加				

(1) 普及啓発の強化・価値観の共有化

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
⑫	県内・市内の鳥類等見学施設との連携【継続】	トキ公開施設、トキ学習コーナー、愛宕山公園、しまね花の郷、松江フォーゲルパーク、宍道湖グリーンパーク等との共同事業（例：スタンブラリー）の実施。	・三瓶自然館サヒメルでのトキの剥製展示	協力体制構築				
	農業振興課			実施				
⑬	バックヤード体験ツアー、エサやり体験の拡充【継続】	非繁殖期の7月・8月ごろに、トキ分散飼育センターのバックヤード体験ツアーを開催する。また、トキ近似種エサやり体験についても実施する。	・トキ分散飼育センターのバックヤード体験ツアーの開催 ・トキ近似種エサやり体験の実施	実施				
	農業振興課							
⑭	愛宕山公園におけるトキ近似種の飼育・公開【継続】	愛宕山公園内にトキ近似種の飼育・公開場所を設置し、直接触れ合う機会を増やす。	・トキ近似種の飼育施設の整備 ・トキ近似種の飼育・公開	トキ近似種の飼育・公開				
	都市計画課							
⑮	トキの認知度調査の実施【一部新規・拡充】	トキの認知度調査を実施し、トキによるまちづくりの認知度を把握するとともに、施策立案に活用する。	・市の公式SNS登録者及びトキファンクラブ登録者を対象に認知度調査を実施	SNS登録者への認知度調査の実施				
	政策企画課			無作為抽出による認知度調査の実施				
⑯	トキ公開施設等の愛称募集【新規】	トキ公開施設・トキ学習コーナーの愛称を募集し、誰もが親しみやすい施設として、施設の充実を図る。		愛称募集・決定				
	政策企画課			愛称看板・フォトスポット等の設置				
⑰	放鳥決定記念イベントの実施【新規】	トキの放鳥決定を記念し、更なる機運醸成を図るため、市民参加型のワークショップ等を実施する。		ワークショップイベントの実施				
	政策企画課							

(2) 若年層に向けた発信力の強化

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
①	トキのオリジナル絵本の作成【継続】	幼少時からトキに愛着を持っていたため、オリジナル絵本を作成し、3歳児健診時にあわせて贈呈するとともに、保育所、幼稚園、小学校、診療所、子育て関連施設等に設置する。また、そのキャラクターを活用し、PRの強化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナル絵本の作成 ・3歳児健診時に全員にプレゼント ・保育所、幼稚園等の子育て関連施設や図書館、コミセン、小児科、ホテル等に設置 					
	政策企画課			<p>絵本を3歳児健診時にプレゼント</p>  <p>絵本のキャラクターを活用したPRの強化</p>				
②	子ども向けトキ学習講座の実施【継続】	紙芝居を作製し、保育所、幼稚園向けの出前講座を実施する。また、子どもを対象とした夏休みの自由研究講座等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居の作成 ・保育所への出前講座 ・公開施設を訪れた児童への紙芝居の公演 ・トキまち探検隊（学習会）の実施 					
	農業振興課			<p>紙芝居等の出前講座の実施</p>  <p>公開施設での公演</p>  <p>夏休み自由研究講座の実施</p>				
③	小学生向け環境学習教材の充実【継続】	理科の授業に活用している環境学習教材のページを追加し、トキの放鳥に向けた生息環境について、小学生に学んでもらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内のため池12地点程度を対象に水生生物調査を実施 ・トキのエサ資源となる生き物を紹介するページを入れた冊子を作成し、小学校等に配布 					
	環境政策課			<p>教材（川の生き物たち）の授業における活用</p>				
④	市内小・中学校へのパネル展示の実施【継続】	トキに関する情報や出雲市の取組についての展示物（パネル）を作製し、市内小・中学校で展示する。	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発パネル（8枚1セット）を希望する小中学校に配付 					
	教育政策課			<p>パネル展示の実施</p>  <p>展示物の更新</p>				
⑤	ミコトッキーの活用【継続】	出雲市トキによるまちづくりマスコットキャラクターのミコトッキーを活用し、トキの放鳥・野生復帰についてPRする。	<ul style="list-style-type: none"> ・トキ公開施設来館者10万人の記念品にミコトッキーを描したガラス楯を贈呈 ・企業によるキャラクター使用申請手続 ・イベント告知等各種印刷物に活用 					
	農業振興課			<p>ミコトッキーの活用</p>				

(3) 農業者・関係者の理解醸成

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
①	農業関係者との 座談会・説明会 の実施【継続】	トキの餌場確保に向け、JAなどの 関係機関と連携し、トキの放鳥に不安を感じる農業者等に対し、座談会 など農業者が集まる会等に出向き、 理解醸成に努める。	・JAが開催する営農座談会 資料に「環境にやさしい農業 の取組」を掲載し情報発信	座談会・説明会の実施				
	農業振興課							
②	放鳥適地における説明機会の確保【継続】	放鳥適地の地域において放鳥・野生 復帰に向けた取組などを説明する機会を確保し、トキによるまちづくり 事業について理解醸成を図る。	・初回の放鳥候補地である稗 原エリアを中心に地元説明会 を実施	様々な機会を通じて説明の実施				
	農業振興課							
③	農業者による佐 渡島の取組団体 等との技術交流 の促進【新規】	佐渡島でのトキの生息環境づくりに 関する先行事例を学ぶための現地視 察、意見交換会等を実施する。		佐渡島視察				
	農業振興課							

(1) 環境にやさしい農業の推進

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
①	出雲市環境にやさしい農業研究会による調査・研究【継続】	環境にやさしい農業技術体系・農産物のブランド化戦略の検討などに取り組みとともに、トキの放鳥に向け餌場確保につながる水田管理体系の検討も進めていく。農業者が生産面はもとより販売面でも安心して取り組める環境づくりを行い、経営安定に資する環境にやさしい農業の確立を目指していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい農業の技術体系・農産物（米）のブランド戦略の検討 ・実証ほ場の収穫米の一部を使った観光客向けのキューブ米を試験販売 ・「早期湛水」を試験圃場で実施 	研究会による調査・研究				
	農業振興課							
②	(仮称) 出雲市環境にやさしい農業推進協議会による普及【継続】	環境にやさしい農業の本格的な普及に向けて、研究会を引き継ぐ発展的な組織として「(仮称) 環境にやさしい農業推進協議会」を設立し取り組んでいく。		推進協議会による普及促進				
	農業振興課							
③	有機農業等の普及が可能な環境にやさしい農業技術体系の確立【継続】	県農業技術センターの栽培暦をベースとして、さらに省力化・効率化等の視点で検討した栽培方法の実証試験を中山間地域や平野部で実施し、普及が可能な取り組みやすい技術体系の確立を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・出雲市版の有機水稲栽培暦及び栽培マニュアルの策定 	普及促進				
	農業振興課							
④	トキの餌場確保につながる水田管理体系の普及【継続】	ふゆみずたんぼ、早期湛水、江（え）の設置等の実証試験を行い、生産性や作業性、生物多様性への影響を検証した上で、普及していく。また、防草シートや環境にやさしい除草資材等の実証を行い、効果や経済性等を検証した上で、普及していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・実証ほ場で早期湛水実施 ・自動抑草ロボットを活用した抑草対策を実施 	普及促進				
	農業振興課							
⑤	トキをシンボルとした農林水産物のブランド化の推進【継続】	トキの生息環境への配慮やSDGs視点の農林水産物について、トキの冠をつけた販売展開を進める。また、市独自認証農産物制度（トキを育むいずも●●米等）を確立し、付加価値をつけたブランド展開を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・出雲市環境にやさしい農業研究会に販売戦略検討部会を設置 ・市独自認証(基準)によるブランド化等の検討 ・実証圃場の収穫米を使用した観光客向けのキューブ米の実証販売 	試行販売 本格販売				
	農業振興課							

(2) 既存制度の活用・推進

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
①	有機JAS認証・特別栽培農産物の普及【継続】	有機JAS認証農産物や特別栽培農産物の普及を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規取得者掘り起しのため、有機JAS認証取得希望者へ経費支援を実施 【令和6年度】 認証新規取得者 5人 継続認証者 1人 【令和7年度】 継続認証者 4人 	新規取組者の掘り起し				
	農業振興課			有機JAS認証取得 特別栽培農産物普及				
②	指定棚田地域振興活動との連携【継続】	稗原指定棚田地域振興協議会（山寄・市森・野尻地区）の活動と連携し、棚田が持つ多面的機能を活用し、交流人口の拡大など地域振興を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払い交付金の棚田地域振興活動加算により、棚田保全活動への支援を実施 3集落協定（山寄・市森・野尻地区） 	棚田保全活動の支援				
	農業振興課							
③	多面的機能支払交付金の活用【継続】	有機農業、化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援する。 ※令和7年度から多面的機能支払い交付金に移行	<ul style="list-style-type: none"> ・新規取得者掘り起しのため、有機農業等に取り組む市内活動組織への支援を実施 【令和6年度】 新規活動組織 1組織 継続活動組織 18組織 【令和7年度】 継続活動組織 19組織 	新規取組者の掘り起し				
	農業振興課			交付金による営農活動支援				
④	新出雲農業チャレンジ事業の活用【継続】	環境にやさしい農業推進事業により、調査・研究活動や機械・設備の導入、トキの生息環境に資する水田管理への支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・補助メニューの見直し ・環境にやさしい農業研究会による調査研究活動の実施 ・トキの生息環境に資する水田管理への支援を実施 【ビオトープ整備】 令和6年度 1件 令和7年度 1件 	支援の実施				
	農業振興課							

(1) 生息環境整備に向けた取組

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
①	生息環境基本指針の策定【継続】	放鳥要件や出雲市トキ野生復帰アドバイザー等の意見を踏まえ、生息環境基本指針を策定する。	・石川県におけるトキの生息環境整備の実施状況や放鳥要件に係る情報収集の実施 ・佐渡島での採餌環境整備の視察を実施	生息環境整備について意見交換				
	農業振興課			生息環境基本指針の策定 生息環境基本指針の周知・取組幹旋				
②	出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会による生きもの調査【継続】	環境保全型農業に取り組む営農組合に依頼し、谷あいをつなぐエリアとして生き物調査を実施する。	・各取組による生きもの経年変化を把握するため、生き物調査を実施	生きもの調査				
	政策企画課							
③	通年湛水箇所の整備【継続】	田んぼにおいて、土水路やビオトープなど通年にわたり湛水ができる箇所を整備し、成果を検証したうえで横展開を図る。	・環境にやさしい農業研究会の実証ほ場で早期湛水実施 ・営農組合独自の取組として江を設置 ・新出雲農業チャレンジ事業を活用しビオトープを設置	制度設計				
	農業振興課			見直した補助制度の実施				
④	餌資源量調査及び追跡調査の実施【一部新規・拡充】	市内の主要な放鳥適地において餌資源量調査を実施する。また、餌資源量の増減を把握するための簡易追跡調査を実施する。	・稗原エリア野尻町地内での餌資源量調査を実施	餌資源量調査				
	農業振興課			餌資源量調査				
⑤	餌場環境整備の検討【継続】	餌資源量調査の結果及び環境にやさしい農業の普及状況を踏まえ、餌場環境（田んぼビオトープ等）の整備について検討する。	・国や佐渡市、石川県から情報収集 ・放鳥候補地に採餌環境整備の事例を紹介	餌場環境整備の検討				
	農業振興課							
⑥	トキの餌場確保につながる水田管理体系の普及【継続】〔再掲〕	ふゆみずたんぼ、早期湛水、江（え）の設置等の実証試験を行い、生産性や作業性、生物多様性への影響を検証した上で、普及していく。また、防草シートや環境にやさしい除草資材等の実証を行い、効果や経済性等を検証した上で、普及していく。	・実証ほ場で早期湛水実施 ・自動抑草ロボットを活用した抑草対策を実施	普及促進				
	農業振興課							

(2) 森林や水辺の再生と活用

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
①	斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と生きる流域づくり検討協議会における連携強化【継続】	国土交通省出雲河川事務所及び圏域自治体等と連携し、大型水鳥類の生息環境づくりに向けて、面的整備に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・出雲河川事務所及び圏域自治体等と連携した大型水鳥類の生息環境づくり実施 ・雨水田んぼ、秋耕回避の影響調査 ・全国フォーラム等に市長がパネリストとして参加し、市の取組を紹介 	大型水鳥類の生息環境の検討・実施				
	建設企画課							
②	市内の水生生物調査の実施【継続】	市内の水生生物調査を実施し、調査結果をもとに作成した小学生向け冊子を配布し、環境教育に活用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内のため池12地点程度を対象に水生生物調査を実施 ・トキのエサ資源となる生き物を紹介するページを入れた冊子を作成し、小学校等に配布 	水生生物調査の実施				
	環境政策課			小冊子の配布				
③	河川・湖沼周辺の清掃活動等【継続】	トキが生息するための良好な水辺環境を整備するため、用排水路、河川、神西湖等の清掃活動の支援をするとともに、6月の環境月間には、ラムサール条約の趣旨である「環境の保全」と「賢明な利用（ワイズユース）」に対する地域住民の意識の高揚を図るため、宍道湖沿岸の一斉清掃を行う。また、市内河川水質検査についても継続して実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・宍道湖一斉清掃の実施 ・神西湖清掃の実施 ・市内河川水質検査の実施 	水路等の清掃活動の支援（汚泥等の収集、土のう袋及びゴミ袋の配布）				
	環境政策課			中海・宍道湖一斉清掃の実施 市内河川水質検査の実施（21河川38か所）				
④	宍道湖水環境改善協議会の事業実施【継続】	中海・宍道湖一斉清掃、ヨシ関連事業（刈り取り、利活用）、環境関連啓発事業（手長エビ・シジミ採り体験、絵画コンクール）、上下流交流事業・木育環境学習事業、調査研究事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・宍道湖一斉清掃の実施 ・ヨシ関連事業の実施 ・環境関連啓発事業の実施 ・斐伊川水系の上下流交流事業の実施 ・調査研究事業の実施 	宍道湖水環境改善協議会の事業実施				
	環境政策課							
⑤	森林整備による水源涵養機能の回復・向上【継続】	主伐・再造林の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市公有林において、本格的に主伐・再造林を実施 ・私有林において、林業事業体が行う主伐・再造林に対して補助を実施 	主伐・再造林の推進				
	森林政策課							











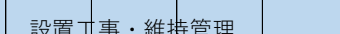
(3) 野生動植物にも人にもやさしい里山づくり

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
①	出雲・雲南地域 広域連携生態系 ネットワーク推 進協議会におけ る連携強化【継 続】	島根県、雲南市、奥出雲町及び飯南 町と連携し、トキと共に生きる環境 づくりとして、自然環境の把握、情 報発信、環境づくりを通じた広域的 な環境にやさしいまちの意識醸成に 取り組む。	・ 広域連携による情報共有・ 情報発信 ・ 次期計画案の策定	連携事業の推進				
	政策企画課							
②	里山林の健全化 【継続】	侵入竹の除去や里山林の保全を行う 住民団体への支援（森林・山村多面 的機能発揮対策事業、森林機能発揮 事業）	・ 侵入竹の除去や里山林の保 全を行う住民団体を支援	森林・山村多面的機能発揮対策事 業（国事業）				
	森林政策課							

(4) 放鳥に係る体制づくり

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
①	広域連携体制の構築【一部新規・拡充】	トキの放鳥・野生復帰に向けて、県、周辺自治体等との連携体制について協議・調整を行う。 特にトキ目撃情報の収集方法及び傷病個体の対応方法などについて市の方針をまとめ、県及び周辺自治体に協力を依頼する。	・ 傷病個体の対応及び連絡体制について県と協議・調整	広域連携体制の協議・調整・強化				
	政策企画課			目撃情報収集・傷病個体対応の協力依頼				
②	市民及び観光客向け観察マニュアルの作成・周知【一部新規・拡充】	トキの生態に影響を及ぼさない適切な観察方法として、環境省と連携し、「出雲市版トキのみかた」を作成し、観察の仕方について周知・徹底を図る。	・ 環境省が作成する観察マニュアル「トキのみかた」について意見交換	観察マニュアル「出雲市版トキのみかた」の作成				
	政策企画課			周知徹底				
③	放鳥場所の検討・選定【一部新規・拡充】	ソフトリリース及びハードリリースの場所について検討する。また、放鳥したトキの飛散（生息）状況等を踏まえ、2回目以降の放鳥場所を選定する。	・ 稗原エリアを初回の放鳥候補地に選定 ・ 佐渡島と石川県の放鳥場所に係る情報収集、現地視察の実施	放鳥場所の検討・選定				
	農業振興課			2回目以降の放鳥場所の検討・選定				
④	放鳥方法の検討・放鳥の実施体制の構築【継続】	放鳥方法及び放鳥の実施体制のあり方について、国、県及び関係機関と協議調整のうえ役割分担を定め体制を構築する。	・ 野生復帰検討会等による情報収集 ・ 佐渡島での放鳥視察、放鳥作用補助	体制のあり方検討・協議調整・体制構築				
	農業振興課							
⑤	天敵対策の検討・実施【継続】	テン等の天敵対策（営巣木への波板の設置等）について、国、県及び関係機関と協議調整のうえ役割分担を定め実施する。	・ 野生復帰検討会等による情報収集 ・ 佐渡島での現地視察	検討・協議調整				
	農業振興課			天敵対策の実施				

(4) 放鳥に係る体制づくり

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
⑥	放鳥後のモニタリング体制の構築【一部新規・拡充】	野生下におけるトキの行動、生息状況等を調査するためのモニタリングチームを結成するほか、広く目撃情報を収集するためのシステムを構築する。	<ul style="list-style-type: none"> 国の方針に基づき、出雲市における課題整理 佐渡島においてトキのモニタリング作業を体験 出雲市版モニタリングの方針案を検討 	 モニタリングチーム結成				
	農業振興課			 目撃情報システム構築	 モニタリングの実施			
⑦	トキの傷病・死亡等の緊急時の体制構築【継続】	トキの傷病・死亡等の個体が発見された場合の緊急時の体制について、国、県及び関係機関と協議調整のうえ役割分担を定め対応する。	<ul style="list-style-type: none"> 傷病個体の体制構築に向け、県と協議調整 緊急時のフロー案を作成 	 検討・協議調整・体制構築	 緊急時の対応			
	農業振興課							
⑧	放鳥後の生態系・環境への影響調査【継続】	放鳥後によって生態系・環境へどのような影響があるのか調査のあり方も含めて検討する。			 放鳥後の影響調査			
	環境政策課							
⑨	放鳥の実施（ソフトリリース・ハードリリース併用）【新規】	ソフトリリース・ハードリリースの併用を基本に放鳥を実施する。			 ソフトリリースの実施	 ハードリリースの実施		
	農業振興課							
⑩	ソフトリリース用仮設ケージの設置【新規】	ソフトリリース用の仮設ケージの設置及び管理を行う。		 設置場所の検討	 石川県の設置ケージの視察			
	農業振興課				 設置工事・維持管理			

(4) 放鳥に係る体制づくり

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
⑪	ハードリリース のセレモニー実 施【新規】	ハードリリースの実施にあたり、放 鳥場所でセレモニーを実施し、トキ の放鳥・野生復帰をPRする。		→	セレモニーの内容検討			
	政策企画課				→	ハードリリースセレモニー の実施		

(1) つながる人の輪

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
①	トキと共生する 里地づくりネット ワーク協議会 【継続】	佐渡市、石川県及び出雲市が持ち回 りで協議会を開催し、本州において トキが生息できる環境整備を円滑に 行うことを目的に情報共有を行う。	・令和6年度に出雲市で開催 ・協議会に参画し、情報共有 を行う	里地づくりネットワーク協議会への 参画				
	政策企画課				出雲市開催		出雲市開催	
②	佐渡市への職員 の研修派遣【継 続】	放鳥に向けた体制を整えるため、佐 渡市に職員の研修派遣を行う。	・佐渡島での仮設ケージから の放鳥の視察、放鳥個体の捕 獲補助 ・佐渡島でのモニタリング作 業の体験視察の実施	研修派遣				
	農業振興課							
③	斐伊川水系生態 系ネットワーク による大型水鳥 類と生きる流域 づくり検討協議 会における連携 強化【継続】 〔再掲〕	国土交通省出雲河川事務所及び圏域 自治体等と連携し、大型水鳥類の生 息環境づくりに向けて、面的整備に 取り組む。	・出雲河川事務所及び圏域自 治体等と連携した大型水鳥類 の生息環境づくり実施 ・雨水田んぼ、秋耕回避の影 響調査 ・全国フォーラム等に市長が パネリストとして参加し、市 の取組を紹介	大型水鳥類の生息環境の検討・実施				
	建設企画課							
④	出雲・雲南地域 広域連携生態系 ネットワーク推 進協議会におけ る連携強化【継 続】〔再掲〕	島根県、雲南市、奥出雲町及び飯南 町と連携し、トキと共に生きる環境 づくりとして、自然環境の把握、情 報発信、環境づくりを通じた広域的 な環境にやさしいまちの意識醸成に 取り組む。	・広域連携による情報共有・ 情報発信 ・次期計画案の策定	連携事業の推進				
	政策企画課							
⑤	ふるさと納税型 クラウドファン ディング・企業 版ふるさと納税 の活用【継続】 〔再掲〕	ふるさと納税型クラウドファンディ ング及び企業版ふるさと納税の活用 により、広く普及啓発を図るととも に、財源確保を図る。	・ふるさと納税型クラウド ファンディングの実施 ・企業版ふるさと納税の実施	ふるさと納税型クラウドファン ディング				
	政策企画課				企業版ふるさと納税			
⑥	トキファンクラ ブの設置【継 続】〔再掲〕	いずれもトキファンクラブを設置し、 公式LINEアカウントを活用した 情報発信を行う。	・いずれもトキファンクラブの 設置・会員募集 ・官民連携による運営協議会 の設置	ファンクラブの管理運営 会員募集・情報発信				
	政策企画課							

(1) つながる人の輪

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
⑦	NPO法人いずも朱鷺21の活動支援【継続】 〔再掲〕	トキ関連事業の開始当初から中核組織として取り組んでいるNPO法人いずも朱鷺21の独自事業（地元説明会、トキグッズの作製・販売、ビオトープの設置等）の活動を支援するとともに、トキの取組の賛同者の拡大を図る。	・トキ関連グッズ（ポロシャツ・トートバッグ）の販売斡旋 ・ビオトープ整備に係る支援 ・講演会や地元説明会の実施に係る資料提供	活動支援				
	政策企画課							
⑧	中国漢中市との国際交流の促進【新規】	出雲市の友好都市である中国漢中市と、トキを通じた人的交流・文化的交流を図る。		相互交流の促進				
	政策企画課							
⑨	地元大学等との連携促進【新規】	県内に立地する大学や研究機関、高等学校と情報共有を図るとともに、連携事業について検討し、トキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりの促進を図る。		検討・協議調整・連携事業の実施				
	政策企画課							

(1) トキを出雲市の新たなブランドへ

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
①	トキ関連の商品開発の推進【継続】	事業所及び関係団体におけるトキ関連の商品開発及び販売を支援する。	・地元企業がトキ関連商品を製作・販売（１社） ・いずも縁結びペイの基本カラーをトキ色とする ・出雲菓子協会に対し、トキ関連商品の開発に係るアンケートを実施	<div>事業所等による商品開発</div>				
	商工振興課			<div>商品の販売</div>				
②	トキをキーワードとした観光プログラムの検討【継続】	ファミリー層をターゲットとしたトキ公開施設（バックヤード体験含）及びしまね花の郷を活用したツアーの検討など、既存の観光地と連携した観光プログラムを検討する。	・出雲市観光基本計画にトキを活用したネイチャーツーリズムを位置付ける	<div>観光協会等関係機関と協議</div>				
	観光課			<div>ツアーの試行</div> <div>ツアー実施</div>				
③	バードウォッチングツアーの検討・実施【継続】	トキ放鳥に向け、既存のバードウォッチングツアー参加者に情報発信を行うとともに、トキを含めたバードウォッチングツアーの内容について検討を行う。	・既存のバードウォッチングツアーの情報収集	<div>観光協会等関係機関と協議</div>				
	観光課			<div>バードウォッチングツアーの試行</div> <div>ツアー実施</div>				
④	ミコトツッキーの活用【継続】〔再掲〕	出雲市トキによるまちづくりマスコットキャラクターのミコトツッキーを活用し、トキの放鳥・野生復帰についてPRする。	・トキ公開施設来館者１０万人の記念品にミコトツッキーを描写したガラス楯を贈呈 ・企業によるキャラクター使用申請手続 ・イベント告知等各種印刷物に活用	<div>ミコトツッキーの活用</div>				
	農業振興課							
⑤	トキをシンボルとした農林水産物のブランド化の推進【継続】〔再掲〕	トキの生息環境への配慮やSDGs視点の農林水産物について、トキの冠をつけた販売展開を進める。また、市独自認証農産物制度（トキを育むいずも●●米等）を確立し、付加価値をつけたブランド展開を進める。	・出雲市環境にやさしい農業研究会に販売戦略検討部会を設置 ・市独自認証（基準）によるブランド化等の検討 ・実証圃場の収穫米を使用した観光客向けのキューブ米の実証販売	<div>試行販売</div>				
	農業振興課			<div>本格販売</div>				

(2) 環境にやさしいまち出雲の全国発信

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
①	広域的PR活動の充実【一部新規・拡充】	本州におけるトキの放鳥決定地・放鳥地であることを、出雲縁結び空港や高速道路サービスエリアなどにおいて情報発信を行う。	・高速道路サービスエリアのフリーペーパーに情報掲載 ・県に対し、全県的なPRを要望					
	政策企画課							
②	PR動画の作製・活用【継続】	PR動画を制作し、SNS等を活用して、幅広い世代へPRする。	・佐渡市、石川県及び中国漢中市のPR動画について情報収集					
	政策企画課							
③	トキ関連情報の多言語化【継続】	ホームページやパンフレットについて、多言語化を行う。	・多言語化するコンテンツについて検討					
	政策企画課							
④	企業連携による取組の充実【継続】	普及啓発・餌場環境整備等に向けた企業連携を図り、ステークホルダーの拡大につなげる。また、支援企業を対外的にPRする仕組みを構築する。	・出雲村田製作所等の3社共同事業や日本生態系協会、フジトランスポートのラッピングトラックなど連携した取組を実施 ・支援企業の募集					
	政策企画課							
⑤	事業推進に向けた財源確保【継続】	保護募金の創設など企業及び個人が寄付・投資しやすい環境（手法）を整備するとともに、新たな特典を設け財源の確保を図る。	・企業や個人が寄付・投資しやすい環境を検討 ・飲料メーカーによるラッピング自動販売機の設置					
	政策企画課							
⑥	ふるさと納税型クラウドファンディング・企業版ふるさと納税の活用【継続】〔再掲〕	ふるさと納税型クラウドファンディング及び企業版ふるさと納税の活用により、広く普及啓発を図るとともに、財源確保を図る。	・ふるさと納税型クラウドファンディングの実施 ・企業版ふるさと納税の実施					
	政策企画課							

(2) 環境にやさしいまち出雲の全国発信

no.	施策項目 (主担当課)	施策の内容	これまでの取組	年次計画				
				R8	R9	R10	R11	R12
				2026	2027	2028	2029	2030
⑦	トキ初回放鳥地を示すモニュメント等の検討【新規】	稗原地区において、トキの初回放鳥地であることがわかるようなモニュメント等について検討する。			→			
	政策企画課				モニュメント等の検討・設置			
⑧	全国各地で開催されるシンポジウム等での取組紹介【新規】	トキの放鳥地（候補地）であることを全国に発信するため、全国各地で開催されるシンポジウムやフォーラムに参加し、市の取組を紹介する。		→				
	政策企画課				全国各地のシンポジウム等への参加・ブース出展			

トキによる環境にやさしいまちづくり 関係協議会

1. 出雲市トキによるまちづくり推進協議会

目的：国のトキ保護増殖事業におけるトキ分散飼育の一翼を担い、国際的な希少種の保護や自然との共生社会の実現を目指すとともに、地域・住民と行政の協働によるトキをシンボルとした環境にやさしいまちづくりを推進することを目的とする。

構成団体等	
出雲市	市長（会長） 教育長、総合政策部、農林水産部、環境エネルギー部
島根県	県知事（顧問） 農林水産部、環境生活部
市議会	総務委員長、建設農林水産委員長、トキ協議会長
国土交通省	出雲河川事務所長
有識者	島根大学、三瓶自然館
各種団体等	商工会議所、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、観光協会、自治協会、学校、NPO 法人いずも朱鷺 21、NPO 法人国際交流フラワー21、NPO 法人川と湖いきいき神西
事務局	出雲市

2. 出雲・雲南地域広域連携生態系ネットワーク推進協議会

目的：出雲市及び斐伊川上流域の雲南市・奥出雲町・飯南町で構成される出雲・雲南地域において、多様な主体が連携・協働し、コウノトリ・トキ等を指標とする生態系ネットワークの形成を通じて生物多様性の保全再生及び地域活性化等に資することを目的とする。

構成団体等	
委員	山陰中央新報社（会長）、NPO 法人、地区振興協議会、日本野鳥の会、三瓶自然館、地域団体、学校、農業協同組合、漁業協同組合、観光協会、県技術士会等
オブザーバー	ホシザキグリーン財団
関係行政機関	奥出雲町、飯南町、国土交通省、環境省
事務局	島根県、出雲市、雲南市

3. 斐伊川水系 生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

目的：多様な主体が連携・協働し、大型水鳥類を指標とする生態系ネットワークの形成を通じた地域活性化及び経済振興の実現を図るための効果的方策の検討を目的とする。

構成団体等	
専門家	東京都市大学（会長）、日本野鳥の会、山陰中央新報社、山陰合同銀行、日本鴈を保護する会、兵庫県立大学
関係団体	中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会、農業協同組合、観光協会、漁業協同組合、米子水鳥公園、ホシザキグリーン財団、NPO 法人
関係行政機関	米子市長、境港市長、松江市長、出雲市長、安来市長、雲南市長、奥出雲町長、飯南町長、出雲河川事務所長、鳥取県生活環境部・農林水産部・県土整備部・西部総合事務所、島根県地域振興部・環境生活部・農林水産部・商工労働部・土木部
オブザーバー	環境省、農林水産省
事務局	国土交通省出雲河川事務所